

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	沖縄障害者福祉工場
住 所	沖縄県国頭郡恩納村字山田1548-1
電話番号	098-965-5902

事業所番号	4711750044
管理者名	名城 道広
対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- ・活動場所 沖縄障害者福祉工場
- ・実施日程 令和 8 年 1 月 7 日～（月 1～2 回）
- ・利用者数 5 名（指導員含む）
- ・実施した生産活動・施設外就労の概要

当福祉工場では、利用者が、タオル類を10層からなる大型連続洗濯機で洗う。その後、まだ汚れ等が残っているタオルは、50キロ大型水洗機で「再洗い」を行う。それでも、汚れが落ちない場合は、製品として使用不可のため、廃棄処理となる。その廃棄品を委託業者（日琉リネン等）から無償で譲渡いただき、リユース（再利用）とし NPO 法人うりずん等へ販売し、収益を上げることができた。

<目的>

- ・地域連携活動のねらい：①ウェス事業（廃棄タオルを雑巾として加工）を行う就労継続支援 B 型事業所等との連携を図る。②リユースすることで廃棄品の削減効果で SDGs への取り組みにもつながる。
- ・地域にとってのメリット：就労支援事業所間の連携を図り、それぞれ収益を上げる
- ・対象者にとってのメリット：利用者がリユース品を販売することで収益をあげ、その連携活動が自立支援につながる。また、取引先の就労継続支援 B 型の利用者の作業工賃になるため双方にとってのメリットがある。

<成果>

- ・実施した結果：利用者も作業がスムーズに対応できた。また、「相手先からも廃棄品だが丁寧に管理されている」との報告を受けた。新規事業として良いスタートを切ることができた。
- ・得られた成果：1 月からの事業開始であったが、182,100 円の収益を上げることができ、今後とも安定した事業継続ができるものと思われる。
- ・課題点：①廃棄品の一定量の確保②利用者のための事業として、委託業者との連携継続の工夫

<活動の様子>

- ・活動の様子の写真・成果物の写真（下記の写真）

指導員の指示のもと、ウェス事業者へ販売する際、全作業を行った。①廃棄処理タオル結束作業②カート詰め③運搬作業等を行う。利用者は、普段の生産工程で慣れた作業なので、要領よく行動ができていた。



乾燥機から取り出し作業



業者へのリユース品



業者の搬送車輛へ積み込み作業



連携先の企業等の意見または評価

・連携した結果に対する意見または評価

①連携先企業等の日琉リネン等：廃棄処理が必要なタオル等を恩賜会のウェス事業として、リユースすることで処理費用の負担がなくなった。②うりずん、ナガオカ：タオルの保存状態が良かったので、ダスター（雑巾）製作として、取扱いがしやすく、今後も継続して取引を続けていきたい。また、NPO 法人の就労継続支援 B 型事業所ではリユース品を活用し、ダスター製作の上、販売売り上げにも貢献しており、利用者の工賃にも反映している。

・今後の連携強化に向けた課題

①恩賜会：沖縄障害者福祉工場は、クリーニング工場のため、収益を伴う地域連携事業は限られているが、今後、地元の学校や保育園、地域の福祉関係施設等との連携を図りながら、販路拡大も検討していきたい。②うりずん、ナガオカ：廃棄品（タオル等）の定期的な安定した供給を継続していただけるよう、恩賜会との連携が必要となる。③連携先企業等の日琉リネン等：一定割合で生ずる廃棄品を恩賜会に提供・譲渡するが、販売するまでの間、廃棄タオルの保管体制を確保して欲しい

連携先企業名	NPO 法人うりずん就労継続支援 B 型事業所・（有）総合ウェス間屋ナガオカ・日琉リネンサプライ（株）・（有）ニューラッキーランドリー	担当者名	岸本千明（サビ管）・比嘉ひとみ（取締役）・仲地修士（統括部長）・喜友名朝仁（営業部長）
--------	---	------	---

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	沖縄障害者福祉工場
住 所	沖縄県国頭郡恩納村字山田1548-1
電話番号	098-965-5902

事業所番号	4711750044
管理者名	名城 道広
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

- ・活動場所：リザンシーパークホテル谷茶ベイ
- ・実施日程：令和7年1月8日（木）9:30～11:30
- ・利用者数 2名

・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：ホテル研修を通して、福祉工場で生産する製品がホテルでどのような流れで使われているかを学び、日々の業務にて、タオル一枚の大切さを理解し、業務に活かすこと。また、利用者の就労するための能力向上につなげていく。

<目的>

- ・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：工場内でホテルのタオル製品化とホテル研修を通じて一体的に考える実践力を身に付けることがいかにできるかをねらいとする。
- ・利用者にとってのメリット：普段、使用後のホテル客室を見ることができない利用者にとって、新鮮なイメージとリゾートホテルの優雅さを体験してもらい一般就労へつなげていく

<成果>

- ・実施した結果：利用者が緊張しながらもまじめに取り組む姿勢が見られ、ホテル内の表（フロント）と裏（バックヤード）の違いについて理解を深めた。
- ・得られた成果：利用者が「観光客が使うタオル、ガウン等をきれいに仕上げたい」等、職場で活かしたいという意欲が見られるようになった。
- ・課題点：事前にリゾートホテルの学習をした上で、参加することにより研修効果が高まるのではないかとされる。

・活動の様子の写真、成果物の写真（ホテル内での研修写真）

・活動内容の追加コメント：初めて見るリネン室内で、多少緊張気味ではあったが、営業部の担当者から、説明を受けて利用状況を学んだ。また、客室マネージャーから客室内のベッドメイキング作業や室内のホテルアイテムなど説明があり、多くの人達（フロント・レストラン・客室担当など）

がホテルの運営を支えていることがわかった。



利用者2名と職員



客室で研修中



客室ベッドメイキング作業



ホテルリネン室内

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・連携した結果に対する意見または評価：今回、リザンシーパークホテル谷茶ベイにて、サビ管、地域連携担当の職員が随行し、利用者2名の研修・見学と基本的な社会的マナーなどそれぞれに応じた知識・能力向上を目的に実施した。ホテル担当者や営業担当者から、ホテルの概要説明や客室での利用者が話を聴く態度や勤勉さについて、「しっかりしていますね。」とお褒めの言葉があり、今後も希望があれば、研修受け入れについて対応していきたい。

・今後の連携強化に向けた課題：福祉工場では営業員がいないので、リザンシーパークホテルやニューラッキーランドリー社の協力をいただいて実施した。今後とも各社の協力が必要であり、連携を進めて利用者の能力向上につながるものとして取り組んでいきたい。

連携先企業（担当者）	リザンシーパークホテル谷茶ベイ（マネージャー宮里千秋）、ニューラッキーランドリー社（営業 大城隆寛）
------------	--

利用者からの意見・評価

・参加した利用者からの意見・評価

- ①リザンシーパークホテルは、初めて来るので緊張したが、恩賜会の職員もいたので、安心して研修に参加することができました。思ったよりホテルの中は、広く地下通路は迷路ようになっていました。お客さんが泊まる部屋は、海側はとてもきれいでした。部屋のベッドメイキング作業は、二人一組でやっているとすごく早かったです。自分たちがいつも洗うタオルがホテルで使われていたので、仕事場でもお客さんのために丁寧に扱いたいです。
- ②リザンシーパークホテルの研修は、緊張しましたが以前に別のホテルでアルバイトしていたのでスムーズに取り込めました。また、ホテルの担当者の説明も分かりやすく、質問もきちんとできたと思います。今回、研修で学んだことを職場に戻ってもしっかりと活かしながら、取り組んでいきたいです。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	沖縄障害者福祉工場
住 所	沖縄県国頭郡恩納村字山田1848-1
電話番号	098-965-5902

事業所番号	4711750044
管理者名	名城 道広
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		点

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		点

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動員に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		15
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		5
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		5
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動		-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方		0点	5点	15点					
支援力向上		0点	5点	15点					
地域連携活動		0点	10点						
経営改善計画		0点	-50点						
利用者の知識・能力向上		0点	10点						

合計	170	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（ 7 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	77,636	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	11,442	人	利用者の1日の平均労働時間数	7	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	68,661,505	円	利用者に支払った賃金総額	73,238,645	円	収支	▲4,577,140	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前々年度（ 6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	81,304,889	円	利用者に支払った賃金総額	72,489,366	円	収支	8,815,523	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（ 7 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	86,488,511	円	利用者に支払った賃金総額	75,723,518	円	収支	10,764,993	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

②免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

③利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

⑤フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑥短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑦時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑧有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑨傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

②研修計画を策定している
③外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。

※研修名 恩納村指定福祉避難所について
研修講師 稲垣 暁
実施日・受講者数 1月17日 49名

②研修、学会等又は学会誌等において発表

③研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

④先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 ORION COSMETICS
実施日/参加者数 4月14日 2人
※他の事業所名 社会福祉法人かがり
実施日/参加者数 12月12日 3人

④販路拡大の商談会等への参加

⑤販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。

※商談会等名 ウェス事業について
主催者名 日流リネンサプライ（株）
日時 12月18日
内容 NPO法人うりずんとウェス事業の販路拡大について

⑤職員の人事評価制度

⑥職員の人事評価制度を整備している

⑦当該人事評価制度を周知している
人事評価制度の制定日 8年3月13日
人事評価制度の対象職員数 13名
うち昇給・昇格を行った者 13名
当該人事評価制度の周知方法 文書

⑥ピアサポーターの配置

⑦ピアサポーターを配置している

⑧当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

⑧前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑨ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

⑩指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。